

令和8年度いたばし未来子ども大学 事業実施報告書

東京家政大学 地域連携推進センター（板橋）

1. 実施状況

【1日目】令和8年8月3日（月）

テーマ 未来を考えよう：未来の共生社会

9：30～10：30

- ・開校式 井上 俊哉 学長
- ・大学での約束 地域連携推進センター 宮地 孝宜 副所長
- ・オリエンテーション 板橋区立教育科学館 清水 輝大 館長



開校式



スタッフ紹介(社会教育実習生)

10：45～12：45

■講義・グループワーク「未来を考えよう：未来の共生社会」

教育福祉学科 小山 聡子 教授



ドラマケーション⇒絵本読み聞かせ⇒グループワーク⇒発表

12：45～15：55

■本日の振り返り 橋区立教育科学館 清水 輝大 館長

- ◆ 多目的ホールを広く使えたことでグループワーク前のプログラムが効果的と感じた。
- ◆ 参加者の自主性を尊重したプログラムであり、参観時間も適切であったと考えられる。
- ◆ 疲労を訴える参加者が複数いたので、要項に体調管理について十分な睡眠をとり参加するよう周知するとよいと思った。

【2日目】令和8年8月4日（火）

テーマ 未来をつくろう：未来の食

9：30～10：40

■講義「未来をつくろう：未来の食」

・食の多様性と持続可能な食生活

栄養学科 赤石 記子 准教授

・醤油から広がる食の世界

一般財団法人日本醤油技術センター

技術部 関根 悠太氏



醤油テイスティング ※お土産：えんどう豆醤油

10：50～13：20

■調理実習・試食

メニュー：けんちん汁、昆布の佃煮、おにぎり、キャロットケーキ



調理実習・試食

13：30～14：40

■グループワーク「未来の食生活について考える新聞をつくろう」

14：40～15：20

■グループ発表会「未来の食をみんなに伝えよう」



新聞のつくり方・発表会

15：20～15：30

■本日の振り返り

板橋区立教育科学館 清水 輝大 館長

- ◆ 小学校の実習室に比べ大きく、大学キャンパスを実感していたようだ。
- ◆ 調理実習の注意事項等、栄養学科の学生が事前に先生とシミュレーションをして実施したので、事故なく終了できた。
- ◆ 午前、午後の通しで体調面を心配したが、元気に参加できていた。
- ◆ 講義で食品ロス、ハラル、アレルギーを学んだことが午後の新聞づくりに活かされていた。
- ◆ 手書きの作成が少ない小学生には新鮮だったようだ。

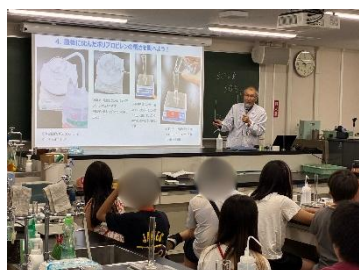
【3日目】令和8年8月5日（水）

テーマ 未来をデザインしよう：未来の服

9：30～10：30

■実験「繊維を知ろう」

服飾美術学科 大井 龍 教授



ペットボトルから繊維を作る実験

10：35～11：35

■実習「ピンワーク実習で未来の服をデザインしよう」

服飾美術学科 田中 早苗 教授

11：35～12：30

■実習「デザインした服を撮影しよう」

服飾美術学科 石田 恭嗣 教授



好きな色を選ぶ



ミニボディにまち針を使って服をデザイン



撮影した自分の作品を説明



作品写真：石田教授撮影

12:40~12:50

■本日の振り返り 板橋区立教育科学館 清水 輝大 館長

12:50~12:55

■大学からのお礼、ご挨拶

ヒューマンライフ支援機構 飯塚 堯介 機構長

濱田 仁美 副学長



※お土産 校章クッキー、りょくくんファイル、中高ボールペン、サインペン、成果ファイル

- ◆ 実験器具が小学校とは違い、攪拌も自動なので驚いていた。実験に興味があると実感した。
- ◆ 撮影スタジオが本格的で、参加者も静かに順番待ちしながら写真を見ると笑顔を見せていた。
- ◆ 服飾美術学科の学生の声かけが適切であった。自主性を尊重し、必要なアドバイスを行っていた。
- ◆ 自分の作品、コンセプトについて活発に答えられていた。

2. 保護者アンケート結果（記述より一部抜粋）

- ・ 大学がどんなところかから始まり、調理実習も、デザインも初めてで新しい体験が刺激的だった様です。将来美術系の大学に進みたいと言うなど、将来について考えるきっかけになったようです。
 - ・ 初めての大学で講義と実践をリアルに体験させていただいたことはこれからの人生にとって少なからず影響があると思います。たくさんの大人の方、学生の皆様に囲まれて学んだ時間は緊張と楽しさの良い刺激になったようです。
 - ・ 3日間勉強してみて、人との関わり、食品、服飾に興味をわいたようです。家に帰って頂いた醤油を早速味見していました。商品開発の努力などの話も聞いたそうで商品ができる過程にたくさんの人が関わっていることも学んだようです。「学ぶこと」、「新しく知ること」は楽しいということを学んだと思います。
 - ・ 普段は小学校で先生から勉強を「教えてもらう」感じが強いですが、この三日間は「自ら学ぶ」イメージを具体的に持てたように思います。これを機に色々なことから自分が何を好きなのか見つけられるよう、広い視野と探究心を持って学び続けて欲しいと思います。
-
- ◆ 保護者の方からアンケートをたくさんいただけて良かった。参観時間に関しても適切だったのではないかと考える。
 - ◆ 大学生体験は「学び」であることが先生方のご尽力で十分に伝わった事で、家政大学らしいプログラムが3日間提供できたと感じた。